

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名称 : BCP (1-BROMO-3-CHLOROPROPANE)  
製品番号 : BP151 (メーカー略号: MOR)  
構成品名 : BCP (1-BROMO-3-CHLOROPROPANE)  
会社名 : コスモ・バイオ株式会社  
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号  
担当部署 : 製品情報部  
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619  
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp  
推奨用途 : 試験研究用試薬

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 物理化学的危険性

引火性液体: 区分 3

##### 健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 4

急性毒性(吸入): 区分 3

発がん性: 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(中枢神経系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(上気道、胃、肝臓、精巣)

#### GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

#### 危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

飲み込むと有害

吸入すると有毒

発がんのおそれの疑い

臓器の障害のおそれ(中枢神経系)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(上気道、胃、肝臓、精巣)

#### 注意書き

##### 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

#### 応急措置

火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

医師に連絡すること。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。口をすすぐこと。

飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

#### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

#### 特定の物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 化学物質

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
1-ブromo-3-クロロプロパン	< 100	109-70-6	9-370; 9-1247; 9-2007

※含有量 (%)はSDS作成時点の情報に基づいております。

詳細な情報につきましては対応するロットのCoAや試験成績書等をご覧ください。

#### 危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当(令和8年4月1日施行)

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

#### 皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。

#### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

#### 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

火気に注意する。適切な換気を確保する。

#### 医師に対する特別な注意事項

医師に暴露物質名、毒性・発がん性を有する物質であること、防護のための注意を通知する。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

##### 適切な消火剤

水噴霧、泡、炭酸ガス、粉末消火剤を使用すること。

##### 使ってはならない消火剤

データなし

#### 特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

#### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

**特有の消火方法**

消火水の下水への流入を防ぐ。

区域より退避させること。

**消火を行う者の保護**

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

---

**6. 漏出時の措置****人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

区域より退避させる。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

**環境に対する注意事項**

下水、排水中に流してはならない。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

---

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い****技術的対策**

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

**安全取扱注意事項**

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

**接触回避**

「10. 安定性及び反応性」を参照。

**衛生対策**

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

**保管****安全な保管条件**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。常温で保存すること。

**安全な容器包装材料**

本製品に使用されている容器内で保管する。

---

**8. ばく露防止及び保護措置**

管理濃度：10ppm (1,2-ジクロロエタン-構造類似物質)

許容濃度：データなし

**ばく露防止****設備対策**

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

**保護具****呼吸用保護具**

- 呼吸用保護具を着用すること。(有機ガス用防毒マスク)(JIST 8152, JIST 8153)
- 手の保護具  
保護手袋を着用する。(不浸透性)(JIST 8115, JIST 8116, JIST8117)
- 眼の保護具  
側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。(JIST8147)
- 皮膚及び身体の保護具  
保護衣を着用する。(不浸透性、長袖)(JIST 8115, JIST 8116, JIST8117)

---

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態：液体  
色：無色  
臭い：データなし  
融点/凝固点：-58.9°C  
沸点又は初留点：143.3°C  
沸点範囲：データなし  
可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし  
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：  
爆発下限：3.2  
爆発上限：8.6  
引火点：45°C  
自然発火点：データなし  
分解温度：データなし  
pH：データなし  
動粘性率：データなし  
水に対する溶解度：0.224 g/100 ml (25°C)  
溶媒に対する溶解度：データなし  
n-オクタノール/水分配係数：log Pow2.18  
蒸気圧：0.85 kPa (25°C)  
密度及び/又は相対密度：1.6  
相対ガス密度(空気=1)：5.4  
粒子特性：データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

- 反応性  
データなし
- 化学的安定性  
通常の取扱い条件において安定である。
- 危険有害反応可能性  
データなし
- 避けるべき条件  
直射日光、高温、火気
- 混触危険物質  
酸化性物質、強塩基、マグネシウム、亜鉛、アルミニウム
- 危険有害な分解生成物  
炭素酸化物、臭化水素、塩化水素

---

## 11. 有害性情報

- 急性毒性  
急性毒性(経口)  
[日本公表根拠データ]  
rat LD50=800-2000mg/kg (厚労省報告, 2009)  
急性毒性(吸入)

## [日本公表根拠データ]

vapor: male rat LC50=1009ppm/4hr (IUCLID, 2000)

## 局所効果

皮膚腐食性/刺激性: データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: データなし

呼吸器感受性又は皮膚感受性: データなし

生殖細胞変異原性: データなし

## 発がん性

[日本公表根拠データ]

cat.2; (日本バイオアッセイ研究センター, 2004)

[IARC]

Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

[日本産衛学会]

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

催奇形性: データなし

生殖毒性: データなし

## 特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

中枢神経系(厚労省報告, 2009)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

上気道、胃、肝臓、精巣(厚労省報告, 2009)

誤えん有害性: データなし

その他の情報: この製品・物質の化学的、物理的、および毒物学的特性は未だ完全に調査されていない。

---

**12. 環境影響情報**

## 生態毒性

## 水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

魚類(ファットヘッドミノー) LC50=12.7mg/L/96hr (ECETOC TR91, 2003)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

魚類(ファットヘッドミノー) NOEC=1.4mg/L/28days (ECETOC TR91, 2003)

## 水溶解度

0.224 g/100 ml (25°C) (ICSC, 2007)

残留性・分解性: データなし

## 生体蓄積性

log Pow=2.18 (ICSC, 2007)

土壌中の移動性: データなし

オゾン層への有害性: データなし

---

**13. 廃棄上の注意**化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

## 汚染容器及び包装

容器の再使用、リサイクルは不可。製品入り容器と同様に処分する。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

---

## 14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号 : 2688  
品名(国連輸送名) : 1-クロロ-3-ブロモプロパン  
国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 6.1  
容器等級 : III  
指針番号 : 159

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報  
毒劇法、消防法の規定に従う。  
船舶安全法 毒物類 毒物 分類6 区分6.1  
航空法 毒物類 毒物 分類6 区分6.1

---

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法  
劇物(令第2条) 該当(法令番号 88の3)  
労働安全衛生法  
名称等を表示すべき危険/有害物 該当(別表第9, 令和8年4月1日施行)  
名称等を通知すべき危険/有害物 該当(別表第9, 令和8年4月1日施行)  
別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3関係) 危険物・引火性の物 (30°C ≤ 引火点 < 65°C)  
健康障害防止指針公表物質(法第28条第3項) 該当  
変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達] 該当  
化学物質管理促進(PRTR)法 : 非該当  
消防法  
危険物 第4類 引火性液体第2石油類(非水溶性) 危険等級 III(指定数量 1,000L)  
届出を要する消防活動阻害物質  
危険物の規制に関する政令別表第2: 劇物(数量 200kg)  
1-ブロモ-3-クロロプロパン  
化審法 : 非該当

---

## 16. その他の情報

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN  
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)  
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
Supplier's data/information  
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。  
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。